

人を、想う力。街を、想う力。

三菱地所グループ

IZUMI PARK TOWN

2024年3月27日

報道関係各位

三菱地所株式会社

泉パークタウンまちびらき 50 周年

～新コンセプトは『Beautiful Ism』～

周年ロゴ、新テレビ CM 公開、タウンソング制作他、50 周年プロジェクトを公開

三菱地所グループが開発・運営を行う泉パークタウンは、今年で 1974 年のまちびらきから 50 年を迎えました。2025 年春までの 1 年間を『泉パークタウンまちびらき 50 周年期間』と位置づけ、泉パークタウンにお住まいの皆様・関係する皆様へのこれまでの感謝の気持ちと、これから先の未来への想いを込めて制作した新コンセプトや周年ロゴ、新テレビ CM に加え、タウンソング制作プロジェクトやその他イベント企画など、50 周年を彩る周年プロジェクトを公開いたします。

また、泉パークタウンでは、2018 年から定期開催している『TOWN CONCERT』や、泉パークタウン タピオ前での歩行者天国イベントをはじめ、長年様々なイベントを展開してまいりました。本年は、50 周年プロジェクトの一環として各種既存イベントのグレードアップも予定しており、より多くの方にお楽しみいただける企画を順次公開してまいります。

■新コンセプト・周年ロゴ

泉パークタウンのまちびらき 50 周年を契機として、これから先の未来に向けた新しいコンセプト『Beautiful Ism』を策定しました。これまで泉パークタウンでは、『Beautiful Town, Beautiful People, Beautiful Life.』というまちのコミュニケーションワードを設け、お住まいの皆様・関係する皆様とのコミュニケーションを大切にまいりました。新しいコンセプト『Beautiful Ism』には、社会動向やビジネス環境の変化がより顕著となるこれからの時代を見据え、「Town, People, Life」以外のあらゆる要素や価値観も大切にしながら、まちの美しさを皆様とともに高め合っていきたいという想いを込めています。

まちびらき 50 周年を記念して制作した周年ロゴでは、あらゆる人やモノ、コトが交わることで、今までにない価値を創造し、新しい泉パークタウンに生まれ変わっていく未来を表しました。また、「50」の左の円の弧では、皆様とともに円を完成させていくプロセスを表現しています。

このまちと、これからのビューティフルイズムを。

Beautiful Ism

泉パークタウンまちびらき50周年



▲新コンセプト

▲50周年ロゴ

■新テレビ CM

泉パークタウンまちびらき 50 周年を記念して制作したテレビ CM を、2024 年 4 月 1 日（月）より放映開始予定です。今回の CM には、株式会社スターダストプロモーションに所属のタレント・原田花埜さんを起用し、泉パークタウンの各施設を舞台に撮影を行いました。1974 年のまちびらき当初から現在までを写真とイラストの世界で表現した“前編”と、これから先の未来を想像し期待を膨らませる“後編”の 2 部構成となっています。尚、CM 動画につきましては、2024 年 4 月 1 日（月）より泉パークタウン オフィシャルサイト (<https://www.izumi-parktown.com/>) 内でご覧いただけます。

<CM 概要>

タイトル：泉パークタウンまちびらき 50 周年 前編・後編

放映開始：2024 年 4 月 1 日（月）

撮影場所：朝日センターハウス、泉パークタウン タピオ、仙台ロイヤルパークホテル

泉パークタウン まちびらき 50 周年 前編（15 秒）



泉パークタウン まちびらき 50 周年 後編（15 秒）



<プロフィール>

原田花埜（はらだ・はなの）

広島県出身神奈川県在住の中学 1 年生 13 歳（2024 年 3 月時点）。スターダストプロモーション「第 3 回スター☆オーディション」にて応募総数 16,397 人の中からグランプリ受賞。CM 初出演。



■タウンソング制作プロジェクト

新コンセプト『Beautiful Ism』の策定と合わせて、泉パークタウンを象徴するタウンソングを制作しました。制作にあたり、エドワード・エルガーの『愛の挨拶』をベースに、作曲家の吉川和夫さんが編曲を担い、歌手のさとう宗幸さんが作詞を行いました。また昨年、創立 50 周年を迎えた仙台フィルハーモニー管弦楽団のメンバー11 名の方々にも制作にご協力いただきました。メロディーでは、泉パークタウン開発前の野原だった土地が、この 50 年間で今のまちの姿へと移ろい、更に未来に向け盛り上がっていく様子を表現しています。更に歌詞には、泉パークタウンの各町名（高森、寺岡、桂、紫山、朝日）を想起させる表現を組み込んだオリジナルソングになります。本楽曲は、各種イベントやプロモーション、泉パークタウン内の各施設での BGM としての使用を想定しているほか、曲名募集企画や泉パークタウン内の学校とのコラボレーションなど、様々な関連企画も予定しています。

<制作スタッフ>

音楽監修・編曲・指揮：吉川和夫

作詞：さとう宗幸

制作協力・演奏：仙台フィルハーモニー管弦楽団

<プロフィール>

吉川和夫（きっかわ・かずお）

東京藝術大学大学院音楽研究科作曲専攻修了。

室内楽曲、合唱劇などを中心に作曲活動を展開。

1996 年放送文化基金賞（音楽・音声・音響効果賞）受賞。

作品は『遠野地方の伝承歌』、合唱劇『銀河鉄道の夜』、ソナタ風幻想曲“SANRIKU”他多数。

作曲家グループ「緋国民楽派」同人。

宮城教育大学附属小学校長、聖和学園短期大学長などを歴任。

現在は宮城教育大学名誉教授。



さとう宗幸（さとう・むねゆき）

1949 年生まれ、岐阜県出身。幼少期に宮城県に転居。

東北学院大学在学中より、仙台市のうたごえ喫茶でフォークシンガーとして歌いはじめる。社会人として上京するも、再び仙台に戻り、

NHK-FM 仙台「FM リクエストアワー」で DJ を担当。78 年に、番組から誕生した「青葉城恋唄」が大ヒットし、『NHK 紅白歌合戦』

へも出場するなど一躍脚光を浴びる。また、俳優としても、『2 年 B 組仙八先生』や、NHK の大河ドラマ『独眼竜政宗』で人気を博した。



仙台フィルハーモニー管弦楽団

1973 年に宮城フィルハーモニー管弦楽団として創立。

1989 年仙台フィルハーモニー管弦楽団に名称を変更。

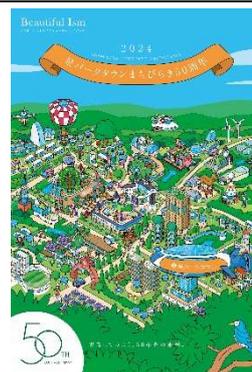
本拠地である日立システムズホール仙台での定期演奏会をはじめ、特別演奏会、全国小中学校訪問演奏会、また「仙台国際音楽コンクール」のホストオーケストラとして出演、「仙台クラシックフェスティバル（せんくら）」でも広く市民に親しまれるなど、「杜の都」の音楽文化における中心的役割を担っている。

2023 年に創立 50 周年を迎えた。



■河北新報広告特集

2024年4月1日（月）の河北新報朝刊に織り込む形で、未来の泉パークタウンをイラストで表現したメインビジュアルほか、泉パークタウンにお住まいの皆様・関係する皆様からのメッセージを集めた「50の希望」企画、そして未来に向け三菱地所グループ各社の想いを纏めた特集を公開予定です。尚、「50の希望」で集めた皆様からの内容については、今後の実施を計画しているワークショップ企画で、実現に向けた施策を検討する予定です。



▲メインビジュアル

■泉パークタウン 50周年記念パーティー

泉パークタウンまちびらき 50周年を記念し、また、これまでの感謝の気持ちを込め、お住まいの皆様・地元関係者の皆様に参加いただく記念パーティーを開催予定です。タウンソングのお披露目と合わせて、今回制作にご協力いただいた吉川和夫さんとさとう宗幸さん、仙台フィルハーモニー管弦楽団のメンバーの皆様によるミニコンサートやトークショーの他、素敵な景品が当たるお楽しみ抽選会も実施予定です。

<開催概要>

名称：泉パークタウン 50周年記念パーティー
開催場所：仙台ロイヤルパークホテル ロイヤルホール
（仙台市泉区寺岡 6-2-1）
開催日時：2024年4月14日（日）10:30～11:30（開場 9:45）
参加者想定：泉パークタウンの住民様約 500名（抽選式・内ご招待約 100名）



▲仙台ロイヤルパークホテル

■各種情報発信

【泉パークタウン オフィシャルサイト】

まちの情報を集約、発信しています。

サイト URL：<https://www.izumi-parktown.com/>



▲サイトイメージ

【まちびらき 50周年特設サイト】

50周年を記念して行うイベント情報等を随時発信します。

2024年4月1日（月）よりサイトオープン予定です。

サイト URL：<https://www.izumi-parktown.com/50th.html>

【Instagram 公式アカウント】

泉パークタウンでのイベントやプロジェクトに関する最新情報をお届けします。

アカウント名：@izumiparktown_official

アカウント URL：https://www.instagram.com/izumiparktown_official/



▲特設サイトアイコン

【参考】泉パークタウンについて

三菱地所が中心となってまちづくりを進めてきた、約1万世帯が居住する郊外型住宅団地です。総開発面積約1,074ha（約325万坪）。「人と自然の調和した快適な住環境」と「住む」「働く」「憩う」「学ぶ・集う・楽しむ」といった多彩な生活機能を備えた複合型の都市構築をテーマに、1969年に用地取得、1974年より分譲を開始。以降約50年にわたりまちづくりを行ってきました。

タウン内には、住宅をはじめ商業施設、ホテル、事業所、スポーツ施設、レクリエーション施設、緑あふれる公園、緑地がバランス良く配置され、それぞれが調和し合う独自のマスタープランが描かれています。

まちびらき当初より、お住まいの皆様とともにまちづくりを進める精神として「シビルライセンス」（まち全体を財産として共有し、住民自らがまちづくりに参加して一緒にまちを成長させていく理念）が掲げられており、この理念のもと行われるコミュニティ活動がまちの価値を維持・向上させ、成熟を深めています。

2019年5月には、泉パークタウンを対象地として国土交通省スマートシティモデル事業の「重点事業化促進プロジェクト」に選定され、2022年に販売を開始した「朝日」（一戸建用宅地：721区画）を中心に、既存街区も含めた郊外型住宅団地の社会課題解決に向け、先進的技術の導入やタウンマネジメントの仕組み構築に向けた各種検討・実証実験を進めています。2023年にはまちの共有施設「朝日センターハウス」と、住民専用アプリを用いた「くらしのポータルサイト（まちさぼ∞朝日アプリ）」のサービスインが完了し、新しくお住まいになった朝日の住民の方々に各種サービスをご利用いただいております。



▲泉パークタウン位置図



▲泉パークタウン航空写真



▲まちさぼ∞朝日アプリ

朝日ウェブサイト：<https://ipt-asahi.com/>

【参考】その他東北地方における三菱地所グループのプロジェクト

三菱地所グループは、仙台市において、市内北部の泉パークタウン及び都心部を中心に、約50年にわたりまちづくりを進めています。都心部においては定禅寺パークビル・仙台パークビル・花京院スクエア等のオフィスビル、kurax等の商業施設の開発・運営管理のほか、仙台市のみならず東北地方の様々なエリアでも設計監理業務を請け負うなど、多岐にわたる事業を進めてまいりました。

また、昨年3月に再開発準備組合が設立され、事業協力者として携わる「仙台市青葉区一番町三丁目七番地区再開発計画」や、事業予定者として選定された仙台市泉区役所建替事業、仙台市宮城野区扇町で計画している物流施設「ロジクロス」開発事業等、新たなプロジェクトも始動しております。私たち三菱地所グループは、今後とも多様な用途の開発に積極的に取り組み、住み・働き・集い・憩う方々に満足して頂ける地球環境にも配慮した魅力あふれるまちづくりを通じて、真に価値ある社会の実現に貢献します。



▲定禅寺パークビル



▲仙台パークビル



▲花京院スクエア

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社泉パークタウンサービス

TEL : 0120-487-722

FAX : 022-377-8605